第３回　佐賀市立図書館大規模改修基本構想・基本計画策定委員会　開催結果

日　時：令和５年１１月７日（火）　１０：００～
場　所：佐賀市立図書館大集会室
参加者：策定委員会委員、青木茂建築工房、佐賀市　図書館ほか関係職員

１．策定業務の進捗について

（１）業務進捗と今後の見通しについて（図書館）

〇どのような図書館を目指すのかについて、「誰でも」「自由に」「のびのびと」に沿ってコンセプトの案を説明し、意見を求めた。

【委員からの主な意見】

・ゆとりの空間を生み出すということは、デッドスペースの解消にもつながるので、実現してほしい。

・デッドスペースの活用として、市民からも要望の多いプライベートな読書スペースにしてはどうか。ソファやハンモックを設置するのもいい。

・静かな空間と音が出せる空間をゾーニングにより区分するという考え方はいいと思う。大学の図書館ではそういう構造が多くなっている。

・屋外の公園を活用するために、図書館で椅子等を貸し出すサービスができないか。

・返却だけでも、ドライブスルー方式を導入できないか。

（２）構想案について（青木茂建築工房）

〇構想案の検討状況について説明。（協議事項について言及）

２．協議事項

（１）蔵書数・開架率について

〇館内にゆとりある空間を生み出すために、開架率の調整（書架のうち開架を減らし、閉架を増やす考え方）ついて説明して意見を求めた。

佐賀市と同程度の規模の自治体の公立図書館では開架率５割程度のところが多いが、佐賀市では９割を超えている。開架率を５割程度に引き下げることにより、広い空間を生み出せる。

【委員からの主な意見】

・佐賀市立図書館の開架率が、他と比べてそんなに高いとは知らなかった。理由は？

　⇒　開館当初は日本一貸出数の多い図書館を目指していた。

・どういう図書を開架に置くべきか、その選書が重要になってくる。

　そのために、専門職である司書の確保が必要になる。

（２）内外の出入口について

〇図書館に外部の公園との連続性を持たせることや、市民からの要望の多い駐車場へのアクセス改善などのために、建物の出入口に変更を加える考えを説明して意見を求めた。

【委員からの主な意見】

・駐車場からの出入口は建物の北面に確保した方がいいと思う。
出入口に庇でも設置すれば、利用しやすくなる。

・内外の出入口は、（位置は変えるにしても）数は増やさない方がいいのではないか。
出入口が増えて来館者の動線が分散されると、来館者に対する情報提供がやりにくくなるのではないか。

（３）自動・セルフ化（デジタル化）について

〇各種手続きのデジタル化により利用者の利便性向上や運営の効率化につながることを説明して意見を求めた。

【委員からの主な意見】

・時代の波には抗えないので、デジタル化は必要と思う。

・単純作業をデジタル化で対応すれば、司書が専門性の高い本来業務に専念できる。

・障がい者の図書館利用のために、電子図書の活用も必要と考える。

（４）民間活用（集客力・企画力）について

〇図書館の本質的な部分は直営による強化を図るものの、読書目的以外の新たな来館者を増やすためには、イベントの充実を図りたく、民間の企画力や集客力との連携についての考え方を説明。他施設の事例も紹介して意見を求めた。

【委員からの主な意見】

・民間活用を考えるならば、是非地元の業者を優先的に使ってほしい。

・（民間活用と併せて、）規約の緩和を行い、利用しやすいしくみにすべき。

・図書館と民間の連携による相乗効果により、新しい体験の創出につなげてほしい。

３．その他の意見

・大規模改修後も、いつでも市民が意見を言えて、適宜反映できる仕組みがあればいい。